

## I 実践

### 1 研究主題

互いに励まし合い、よりよい集団活動を築こうとする児童活動の推進

#### (1) 主題設定の理由

本校は、「ふるさと大久保を愛し、豊かに生きる児童の育成」を教育目標として掲げている。「豊かに生きる児童」を育成するために人権教育において「互いに励まし合い」をテーマに、日々の児童活動を見直し進めることで、感謝し合ったり認め合ったりしながら活動できるようにした。そして、温かな心と好ましい人間関係を育成したいと考え、本主題を設定した。

#### (2) 研究内容

- ア 豊かな体験活動
- イ 地域の行事への参加
- ウ 人権に関する啓発活動

### 2 実践内容

#### (1) 豊かな体験活動

##### ア 全校参加のあいさつ運動

生活委員会は年間通して月・水・金 に昇降口であいさつ運動を行っている。また月毎に各学年が計画的に実施(毎月第1週をマナーアップ週間とし、あいさつ運動を行う。

(6月6年, 7月2年, 9月3年, 10月4年, 11月5年, 12月1年))した。普段元気にあいさつできない児童も、クラスの友達と一緒にとなると、登校してくる上級生にも元気にあいさつすることができ、下級生には優しく声かける姿も見られた。学校ではあいさつの大切さを知り、心を込めて気持ちのいいあいさつができるようにすると共に児童同士や教師と児童、地域の人との人間関係を築くことができるよう取り組んでいる。



##### イ スマイルタイム(縦割り班活動)

本校では、縦割り班活動として「スマイルタイム」を設定している。6年生が21グループそれぞれのリーダーとなり、遊びや愛校作業の計画をし、毎月1回水曜日のロングの昼休みに実施している。遊びや作業の中で分からなくなったり、友達とトラブルが発生したりしたときなどは、6年生が説明したり、お互いの話を聞いたりして、お互いが思いやりをもてるようにしている。

##### ウ くさぬき隊(園芸委員会の花壇整備を助けるボランティア活動)

7月上旬, 9月下旬ごろに期間を設けて昼休みに学校の玄関前にある大きな花壇(なかよし花壇)の草抜きをボランティアを募って実施した。各学年とも積極的に参加し、1本1本丁寧に除草していた。参加した児童には、隊員証(バッジ)がプレゼントされ、中央廊下に隊員名が記録される。

##### エ 福祉体験・いのちの教育(4年生 総合的な学習の時間)

ゲストティーチャーとして社会福祉協議会の方や視覚障害のある方とそのパートナー(盲導犬)を招待し、講話をいただいた。耳の不自由な生活, 体の不自由な生活, 目の不自由な生活について, 実際にどれだけ大変なのか体験を通して障害のある人への共感を深めた。



いのちの教育では、赤ちゃんが誕生するまでや思春期についての講話が行われ、一人一人の命の大切さや、自分の存在の尊さについて深く考える学習となった。また、親と子が一緒に話を聞き、考えることで親子の関係を再認識できた。

## (2) 地域の行事への参加

### ア 大久保交流センター主催の敬老会（2年，1年，6年）

9月に行われる敬老会に，2年生の全児童が，音楽の合奏と合唱の発表と呼びかけを行った。また，1年生と6年生の代表児童が作文の発表をした。

### イ よかつぺまつり（4年，6年）

例年中学生がボランティアとして参加していたが，本年度は体育祭と重なったため6年生がボランティア活動をするようになった。まつりの事前準備としてゴミ箱作りを行い，当日は高校生と一緒に抽選・商品交換の活動を係として行った。たくさんの6年生のボランティアが集まり，楽しみながら熱心に活動していた。また，4年生全児童が，特設ステージで花笠音頭のダンスを披露し，まつりを盛り上げた。



### エ 大久保ふれあいまつり（5年）

11月に行われる大久保ふれあいまつりに，5年生の全児童が参加し，合奏と合唱を発表し，まつりを盛り上げた。

## (3) 人権に関する啓発活動

毎年1学期終わりの頃，人権メッセージについて全児童に呼びかけて，「人権メッセージを考えること」を実施している。1年生から6年生まで全クラスで取り組み，全部で549点の作品があがった。夏休み前に実施するクラスや夏休みの課題として実施を呼びかけて取り組むクラスもあり，親子で人権について考える良い機会となった。子供たちは，「いじめについて考えたこと」「相手の気持ちになって考えたこと」など，自分なりに感じたことを素直にメッセージにして書き留めた。各学年の代表児童のメッセージを人権コーナーに掲示した。人権書道や人権ポスターにも積極的に取り組み，保護者の啓発も図った。

## 3 研究の成果

- (1) 学校や地域で行う行事や地域の方々とふれ合う体験を通して，相手を思いやる気持ちが育ってきている。また，友達とのかかわりの中で，学習・生活全般を通して，相手を思って行動したり，助け合おうとしたりする心が育ってきている。あいさつ運動では，あいさつする側とされる側を経験することで相手の気持ちを考えることができ，あいさつをする大切さを感じることができた。普段から委員会の児童が率先してあいさつ運動を行うことで，日々あいさつをする児童が増えた。
- (2) 人権メッセージや人権書道，人権ポスターへの取り組みを通して，家庭や友達，多くの人々に支えられていることを再確認し，感謝の気持ちを持つとともに思いやりの心を育むことができた。

## II 今後の課題

- 1 思いやりの心は育ってきているが，軽い気持ちでのからかいや，「みんながやっているからやってしまう。」といった判断力の乏しさを感じることがある。その場の判断力と実践力，人権感覚の育成を今後も図っていきたい。
- 2 人権に関する理解と認識を高め，指導力の向上を図る教員研修を充実させたい。

## III 人権コーナーの設置の様子

